



## イルカは、なぜ暗い夜でもすいすい泳げるの

### イルカは目より耳で見ている

イルカの目は、10メートルぐらい先まではよく見えます。水中では光は遠くまでとどかず、明るい昼間、どんなにすんだ水の中でも40メートル以上先は見えません。生き物がたくさんいる海では、昼間でも、ほんの10メートル先がやっと見えるていどです。イルカは、時速60キロメートルものスピードで泳ぎますから、1分で1000メートルも進んでしまいます。たった10メートル先までしか見えない目では、役に立ちません。

水中では、音は空気中より速く、確実に遠くまで伝わります。ですから、イルカは、目のかわりに耳が発達していて、耳でえさや、あたりの様子を見ていると思われま

### 超音波はイルカの武器

イルカが聞いている音とは、人間の耳では聞き取れない高い音、超音波です。イルカの大きなおでこの中にある、メロンという超音波発射装置から、見たい方向に超音波が発射されます。これが、さまざまなものにぶつかってはね返ってくる音を、イルカは聞いています。イルカは、たえず発している超音波のおかげで、300メートル先の魚や水中の状態を、わずか0.4秒で知ることができるといわれています。

実験によると、イルカは、目かくししていても、にごった水の中でも、うまく障害物をよけたり、すりぬけたりでき、遠くに置いた2種類の魚のうち、好きな魚のほうにまっすぐに近づきます。プラスチックの魚には見向きもせず、三角形と四角形の形の区別もできます。ですから、暗い夜でも、不自由なくすいすい泳げるのです。

(監修・今泉 忠明)

